

研究所だより

研究所責任者 武 敏夫

館野先生の後を引き継いで早くも五年の歳月が過ぎました。会館のリニューアルも全てが終り、今年には表に掲示板を取り付け、多くの方々に見現会を知って頂ける様になりました。元々この駒込近辺は、文学者、芸術家の方が多く住まれた所、そんな折、東光会さんが同じ地区に引越して来られ、増々美術文化の風が強く吹く事で、多くの画家の誕生を期待しています。今年六月始めの一週間一階のアトリエにて、受講生二十名余りの方々が作品を持ち寄り展示会を開きました。次の七月には広く一般の方対象の水彩教室の募集を致しましたところ、大変好評で次回十一月の開催も決まり、研究所にも新しい風が吹きそうです。



◀ 新設の掲示版



第一回 示絵研展(しかいけんてん) 六月一日から五日まで、示現会絵画研究所研究生有志二十三名による「示絵研展」が示現会絵画研究所の一階アトリエで開催された。F4号からF8号の小品を研究所のイーゼルにのせた展示は、開期後開催の定時総会(七日)に出席の会員、支部長などにも展覧され好評だった。今後毎年開催予定とのこと。

▼ 示絵研展会場(示現会会館一階アトリエ)

